

令和6年度第2回 感染症発生動向調査協議会

令和6年5月15日

月番：加藤 達雄

1 前月の感染症発生動向について（2024年第14週～17週・4月）

<全数把握対象疾患>

- ・結核は30例の発生があり、結核患者21例、潜在性結核感染症9例であった。結核患者の累計は、前年同月比100%、潜在性結核感染症は、前月同月比152.6%と潜在性結核感染症は増加している。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が2例（血清型その他）の発生があった。
- ・デング熱1例の報告があった。
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症は3例の報告があり、1カ月の報告としては多い。今年度累計は10例で、対前年度111%とやや増加している。
- ・梅毒は11例の報告があり、男性7例、女性4例であった。

<定点把握対象疾患>

- ・新型コロナウイルス感染症、インフルエンザは減少している。
- ・RSウイルス感染症は、2023年と同じように早い時期より増加しており、対前月275%、前年同期比170%であった、
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、対前年同期比707%と流行が続いている。

2 検討すべき課題

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況について

3 情報提供（月番委員専門分野から）

- ・第99回結核・非結核性抗酸菌症学会 2024年5月31日～6月1日
- ・第98回日本感染症学会学術集会、第72回化学療法学会総会 2024年6月27日～29日

4 その他（感染症対策推進課から）

- ・令和6年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について（通知）
- ・「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」の廃止について（周知）

<検討結果>